



Red Hat build of Apache Camel 4.4

Hawtio 診断コンソールガイドのリリースノート

Red Hat が提供する Hawtio 診断コンソールガイドの新機能

Red Hat build of Apache Camel 4.4 HawtIO 診断コンソールガイドのリリースノート

Red Hat が提供する HawtIO 診断コンソールガイドの新機能

法律上の通知

Copyright © 2024 Red Hat, Inc.

The text of and illustrations in this document are licensed by Red Hat under a Creative Commons Attribution–Share Alike 3.0 Unported license ("CC-BY-SA"). An explanation of CC-BY-SA is available at

<http://creativecommons.org/licenses/by-sa/3.0/>

. In accordance with CC-BY-SA, if you distribute this document or an adaptation of it, you must provide the URL for the original version.

Red Hat, as the licensor of this document, waives the right to enforce, and agrees not to assert, Section 4d of CC-BY-SA to the fullest extent permitted by applicable law.

Red Hat, Red Hat Enterprise Linux, the Shadowman logo, the Red Hat logo, JBoss, OpenShift, Fedora, the Infinity logo, and RHCE are trademarks of Red Hat, Inc., registered in the United States and other countries.

Linux[®] is the registered trademark of Linus Torvalds in the United States and other countries.

Java[®] is a registered trademark of Oracle and/or its affiliates.

XFS[®] is a trademark of Silicon Graphics International Corp. or its subsidiaries in the United States and/or other countries.

MySQL[®] is a registered trademark of MySQL AB in the United States, the European Union and other countries.

Node.js[®] is an official trademark of Joyent. Red Hat is not formally related to or endorsed by the official Joyent Node.js open source or commercial project.

The OpenStack[®] Word Mark and OpenStack logo are either registered trademarks/service marks or trademarks/service marks of the OpenStack Foundation, in the United States and other countries and are used with the OpenStack Foundation's permission. We are not affiliated with, endorsed or sponsored by the OpenStack Foundation, or the OpenStack community.

All other trademarks are the property of their respective owners.

概要

Hawtio 診断コンソールガイドのこのリリースの新機能に関する最新情報の詳細。

目次

はじめに	3
多様性を受け入れるオープンソースの強化	3
第1章 HAWTIO リリースノート	4
1.1. HAWTIO の機能	4

はじめに

Hawtio は、Red Hat Hawtio 対応アプリケーションを表示および管理するためのエンタープライズ監視ツールを提供します。これは、実行中の Hawtio 対応コンテナを監視および管理するためにブラウザーからアクセスする Web ベースのコンソールです。Hawtio はオープンソースの Hawtio ソフトウェア (<https://hawtio.io/>) に基づいています。Hawtio [Diagnostic Console Guide](#) は、Hawtio でアプリケーションを管理する方法を説明します。

このガイドの対象読者は、Apache Camel エコシステムの開発者および管理者です。このガイドでは、Apache Camel と組織の処理要件をよく理解していることを前提としています。

多様性を受け入れるオープンソースの強化

Red Hat では、コード、ドキュメント、Web プロパティにおける配慮に欠ける用語の置き換えに取り組んでいます。まずは、マスター (master)、スレーブ (slave)、ブラックリスト (blacklist)、ホワイトリスト (whitelist) の 4 つの用語の置き換えから始めます。この取り組みは膨大な作業を要するため、今後の複数のリリースで段階的に用語の置き換えを実施して参ります。詳細は、[Red Hat CTO である Chris Wright のメッセージ](#) をご覧ください。

第1章 HAWTIO リリースノート

この章では、Hawtio 診断コンソールガイドに関するリリース情報を提供します。

1.1. HAWTIO の機能

Hawtio Diagnostic Console は、Hawtio Diagnostic Console Guide 4.0.0 の一般的なリリースで利用できます。

Hawtio には、以下の主な機能が含まれています。

- 特化されたビューによる、JMX を介した JVM のランタイム管理 (特に Camel アプリケーションと AMQ ブローカーのランタイム管理)
- Camel ルートの可視化およびデバッグ/トレース
- 簡素化されたアプリケーションメトリクスの管理および監視

1.1.1. リリース機能

1. UI プラグイン

- a. 接続
- b. JMX
- c. Camel
- d. ランタイム
- e. ログ
- f. Quartz
- g. Spring Boot

2. カスタムプラグインによる UI 拡張

3. 認証

- a. RBAC
- b. BASIC 認証
- c. Spring Security
- d. Keycloak

4. Hawtio Operator

- a. Hawtio カスタムリソース (CR) を介して Hawtio オンラインインスタンスの管理
 - i. OpenShift コンソールを介した CR の追加。
 - ii. CLI ツールを使用した CR の追加。例: **oc**。

- iii. OpenShift コンソールまたは CLI を介して CR を削除すると、ConfigMaps、Deployments、ReplicationController など、所有しているすべての HawtIO リソースが削除されます。
 - iv. Operator 管理の Pod またはその他のリソースを削除すると、置き換えが生成されません。
 - v. プロパティの追加または既存のプロパティの変更 (CPU、メモリー、カスタム設定マップなど) により、更新された値を含む新しい Pod がデプロイされます。
- b. Operator Hub 経由のインストール
- i. Tech Preview バージョンが以前にインストールされている場合、Operator のアップグレードが行われます。1.0.0 GA Operator は、カタログ内に 1.0.1 として報告し、純粋にテクノロジープレビューバージョンと区別します。
 - ii. 番号付き (2.x) または最新のチャンネルを介してインストールが成功すると、同じ Operator バージョンとオペラントがインストールされます。
 - iii. カタログ経由で Operator を正常にインストールしました。
 - iv. カタログで HawtIO を検索すると、Operator の製品バージョンとコミュニティバージョンの両方が返されます。バージョンの正しい識別は明らかではありません。

5. HawtIO オンライン

- a. 認証情報が提供されないと、アプリケーションは OpenShift 認証ページにリダイレクトされるはずですが、
- i. OpenShift が提供する正しい認証情報を入力すると、アプリケーションの検出ページにリダイレクトされます。
 - ii. OpenShift が提供する認証情報が正しく入力されない場合は、ログインを完了できないというメッセージがユーザーに表示されます。

6. 検出

- a. jolokia 対応の Pod のみが、同じ名前空間 (名前空間モード) またはクラスター全体 (クラスターモード) で表示される必要があります。
- b. Pod は、ステータスアイコンを通じて正しいステータス (アップまたはダウン) を表示する必要があります。
- c. 動作ステータスの Pod のみが接続可能になります (接続ボタンが表示されます)。
- d. OpenShift コンソール URL は、HawtIO の起動スクリプトによって入力されているはずですが、したがって、OpenShift コンソールでアクセス可能な機能に関連するすべてのラベルには、それぞれのコンソールターゲットに開くハイパーリンクが必要です。
- e. OpenShift コンソールは、アプリケーションのヘッダーにあるドロップダウンメニューのリンクからアクセスできる必要があります。
- f. すべての jolokia 対応アプリでは、アプリケーションのヘッダーのドロップダウンメニューにリンクがリストされている必要があります。

7. HawtIO 対応アプリケーションへの接続

- a. 検出ページで Pod の横にある Connect ボタンをクリックすると、新しいウィンドウ/タブが開き、宛先アプリケーションに '接続' されます。これは、HawtIO Online UI の左側のサ

イドバーにプラグイン名 (例: JMX) が垂直に表示され、それぞれのフォーカスされたプラグインの詳細がページの残りの部分に表示されるという形で現れます。

- b. Pod への接続に失敗した場合は、ユーザーに何らかのエラーメッセージが表示される必要があります。
- c. 接続されると、上記の 'UI プラグイン' にリストされているすべての機能が、対象アプリケーションに適用可能な場合にテストに使用できるようになります。

1.1.2. HawtIO の既知の問題

このリリースの HawtIO には次の問題が残っています。

HAWNG-147 Fuse Web コンソール - RH-SSO とプロパティログインの両方をサポート

Keycloak/RH-SSO が Web コンソール認証用に設定されている場合、ユーザーは自動的に Keycloak ログインページにリダイレクトされます。JAAS モジュールも設定されている場合でも、ユーザーがローカル/プロパティ認証を試行するオプションはありません。

HAWNG-698 Camel 4 アプリケーションの Fuse Console が正しく読み込まれず、No Selected Container を出力する

Camel 4 アプリケーションの Fuse Console が適切に読み込まれず、No Selected Container を出力しています。返されたエラーは(502) Bad Gateway および(504) ERR_INSUFIENT_RESOURCE です。